

「一日実習」の振り返り（教職実践演習 12/9）の記録から

演習の際に受講者の皆さんが付箋紙に書いて発表した内容です。

参観の視点】 児童生徒が生き生きと活動しているか。
また、それは子どものどんな姿から分かったか。

< 附属小学校での実習から >

- ・授業の「気づきの瞬間」～「分かったぞ！！」というときの子どもの表情や授業の盛り上がり。
- ・算数の時間 ～ グループ活動で一人一人がしっかりと発言していた。
- ・理科に時間 ～ 「どちらが重いか」を議論。
- ・体育に時間 ～ 周りの応援。
- ・国語の時間 ～ 一人一人が国語辞典を片手に分からない言葉をこまめに調べていた。
- ・音楽の時間 ～ 実際の古典楽器を提示。
- ・給食の時間に子ども同士で話しているときの表情。
- ・給食当番の仕事の様子。
- ・学級担任から丸を付けてもらった後の表情。
- ・休み時間におにごっこをしているときの表情。
- ・掃除の時間、時計を見ながらがんばっていた。

< 附属中学校での実習から >

- ・授業中の教師と子どものやりとり ～ つぶやき、挙手しての発言等。
 - ・身近な題材が取り上げられた問題に、興味を持って取り組んでいた。
 - ・日常生活に関する題材を取りあげるとより生徒は興味を持って授業に参加する。
 - ・グループ内で生徒同士の対話が見られる授業だった。
 - ・理科の授業中、一つの答えを導き出そうと生徒同士の話し合いが活発に行われていた。
 - ・数学の時間の振り返りシートから、習ったことを日常に活用しようという意欲が見られた。
 - ・美術の表現活動で妥協せずに作品作りに取り組む生徒がいた。
- < 授業以外の学校生活で気づいたこと >

- ・清掃への取り組みが予測を超えて熱心だった。
- ・学活の時間、クラス委員が上手にクラスをまとめていた。係決めで、みんなが納得して話し合いが行われた。）

< 附属特別支援学校での実習から >

- ・朝の会で一人一人が役割を持って参加していた。
- ・お店屋さんを通して店員役や客役として友達と関わっていた。
- ・児童同士で楽しくカルタをしていた。

【参観の視点】 教師がそれぞれの子どもにどう関わっているか。
また、それはどんな状況や場面から分かったか。

【附属小学校での実習から】

- ・子どもをつぶやきを逃がさずに取り上げ、授業に生かしていた。
- ・十分な考える時間を確保していた。
- ・授業での子どもの役割の持たせ方。
- ・誤った答えを発言した子どもへの対応。
- ・体育の高飛びの授業で、子ども一人一人に合わせて跳び方の指導をしていた。
- ・自然体に関わり丁寧に対応する姿勢
- ・普段の生活からたくさん言語を引き出そうとしている。
- ・教師は児童と話するとき、必ずじっと目を見つめていた。
- ・時には児童の名前を呼びすてにしていた。

【附属中学校での実習から】

- ・子ども中心の授業を進めている。要点を子どもの口から発表させていた。
- ・生徒一人ひとりの実態を把握し、クラス全体を見ながら授業をしていた。
- ・多くの生徒が活躍できるように授業中、一人の生徒の意見を他の生徒に説明させていた。
- ・板書した生徒と同じ考えをしていた生徒の名前を言う（生徒一人一人をみている）。
- ・子どもを追い詰めない。（クラス内でのトラブルへの対応）
- ・言葉以外で生徒に注意していた。自分で気づき、行動を改めようと意識させるため）
- ・にぎやかな雰囲気を受容している。注意や指示はしっかりきかせる。

【特別支援学校での実習から】

- ・授業の流れをはじめに示して、見通しをもてるようにしていた。
- ・児童の思いを大切にされたかわり。
- ・子どもをよく見ていていけない個とをした場合には、しっかりと伝えていた。

「一日実習」の振り返り（教職実践演習 12/9）の記録から

演習の際に受講者の皆さんが付箋紙に書いて発表した内容です。

【実習の振り返りの視点】

一日実習を通して、「四月の採用〈講師を含む〉までに心掛けたこと」として気づいたこと

- ・一番言いたいことは教えず、気づかせる。（手立て）人と話すときは全部話すのではなく、上手に伝わるように。
 - ・子ども一人一人を見取り、関わる。（手立て）子どもとかかわるボランティア事業に積極的に参加してかかわる。
 - ・一人一人と向き合う。（手立て）人の話をよく聞き、冷静に判断するように心がける。
 - ・明確な理想とするクラスの姿。（手立て）していいことと悪いことを明確にする。子どもと話すことができるくらいに考える。
 - ・トラブルへの対応。（手立て）児童と話すなどしながら、児童自身に気付かせるのか行動をしかるなどするか、他の先生をみたり、友達と話したりしながら考える。
 - ・自分の行いたい学級づくりや授業を明確にしておく。生徒の目線で考える。（本、テレビ、新聞 等・・・）
 - ・授業の雰囲気づくり。楽しく、真剣にメリハリを付けて。公開授業をたくさん見る。
 - ・子どもの理解を元にした場面指導。（手立て）子どもに対して情報通になる）
 - ・模擬実験を行う。
 - ・専門性を高める。
 - ・一人ひとりの生徒の実態にあった関わりを考える。
 - ・要点を得て話す。
 - ・生徒理解。（手立て）一人ひとりの生徒をよく見て、その生徒に合った接し方をする。
 - ・子どもを見守る姿勢！（手立て）すぐに手を貸さずに待つようにする。
 - ・指文字覚える！！
 - ・子どもたちに「伝わる」話し方！！
- （手立て）要点を捉えて、目を見て、聞くことも大切にして。